

実務経験者職務経歴書

| | | | | |
|--|---|---|--------------|------|
| 氏名 | | 国土 真一 | | |
| 期 間 | 実務経験年数 | ① 業 務 の 内 容 | | |
| 自 H25 年 4 月 至 H26 年 3 月 | 満 1 年 0 月 | 住宅の管理委託契約に関する業務（依頼者との調整業務、契約に関する事項の説明業務、契約書面の作成及び交付業務を含む） | | |
| 自 H28 年 4 月 至 H29 年 5 月 | 満 1 年 2 月 | 住宅の管理委託契約に関する業務（依頼者との調整業務、契約に関する事項の説明業務、契約書面の作成及び交付業務を含む） | | |
| 自 至 自 至 自 至 自 至 | 作成に当たっては、備考欄のほか以下の点に留意ください。 ・住宅以外(例えば事務所や店舗など)の取引や管理に関する契約業務は記入できません。 ・契約実務を伴わない業務経験は記入できません。 契約実務の一連業務となる「依頼者との調整、契約に関する事項の説明、契約書面の作成及び交付」全てを行うことができる者又はそれを補助する者であることが必要になります。単に資料の作成を行っていたというだけでは認められません。 ※契約実務を伴う経歴例・・・宅建業の免許を有している会社で、宅建士の資格を有している上司の指示のもとで、依頼者との調整業務、契約に関する事項の説明に関する業務(資料の作成等)、契約書面の作成及び交付業務といった契約行為に関して補助的に業務を行っていた者の経歴 ・自己所有の住宅物件における賃貸借に関する契約行為は、実質的には管理業者が契約行為の調整を行い、貸主は契約書に記名押印するだけというような場合は、実務経験があるとは認められません。 反復的に賃貸業を営んでいる必要があります。 ・内容を確認するために、その他書類を必要に応じて求める場合があります。 | | | |
| 小 計 (累 計) | 満 2 年 2 月 満 2 年 2 月 | ② | | |
| 上記の者は、上記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。 令和〇〇年 〇月 〇日 ③ 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3 国土交通ビル2階 証明者 国土管理株式会社 代表取締役 国土 花子 | | | | |
| 証明を得ることができない場合 | その理由 | ④ | 証明者と被証明者との関係 | 元従業員 |

備考

- ① 「業務の内容」の欄は、本人が従事した住宅の取引又は管理に関する契約実務を伴う事務について全て記載すること。
- ② 「小計」の欄は、「実務経験年数」の欄に記載した年数を月単位で通算して記載すること。
ただし、期間が重複している場合でも実期間で通算すること。複数枚に及ぶ場合は頁毎に累計を記載すること。
同時期に2以上の業務を担当した場合には、従事した期間が重複することのないよう留意して記載すること。
- ③ 証明者は実務の経験をした会社等の代表者とし、複数の会社等での経験を併せて実務経験とする場合は、それぞれの会社等ごとに作成し、それぞれの会社等の代表者が証明すること。
- ④ 証明者証明を得ることができない場合は、例えば、過去に従事していた会社で実務の経験があったが、現在当該会社が消滅している場合などが考えられる。単に現在従事している会社以外の実務の経験という理由では認められない。